



7019

外五名

津川房之丞

鳥根縣曰松江藩士族家祿進給請願書

2766



114  
A2107

島根縣舊松江藩士族家祿奉還追給請願書



不肖等謹而

内閣總理大臣閣下ニ哀訴懇願スル所アラントス

抑々某等ハ明治六年太政官第四百貳十五号御達之御旨趣ニ基キ同七年又ハ八年ニ家祿ヲ奉還シ其多寡ニ関セス均シク六年分ヲ秩祿公債証書及正金トシテ合算シテ下賜セラレタリ而シテ同八年九月ニ至リ太政官第三百三十八号ヲ以テ米祿ヲ改メ金祿ト爲サセラレ同九年八月太政官第三百八号ヲ以テ不奉還者ハ金祿ノ多寡ニ依リ年限ヲ規定シテ金祿公債証書ヲ下賜セラレタリ於茲前ニ奉還シタル者後金祿公債ヲ附與セラレタル者ト差違其懸隔霄壤モ帝ナラス其心レキニ至ツテハ前者ハ後者ノ半額ニタモ及バ

大正十一年四月  
大隈侯爵郵寄贈

サルモノアリ是レ固ヨリ甲ハ御達ニ基キ奉還シタルニ由リテ  
此不幸ヲ蒙リ乙ハ下附ノ時期自然ニ到來セシ故ニ其幸  
ヲ得タリ然レモ均シク同胞同族ニシテ彼是ノ區別アル謂  
レナシ況ニヤ僅々數年ヲ出スレテ其幸彼レカ如ク其不幸  
此、如キ一大懸隔ヲ兩者ノ中ニ生シ來リ聖時ニ或ハ  
均一ナラザルノ跡ナキヤヲ疑フノ情ナシトセズ想フニ維新御  
創業百事御改革ノ折柄自然此不平等ヲ生シタルモ  
廟議必ズヤ他日公明正大一視同仁ノ御處分アラシク受  
ニ待ツコト二十有餘年恰モ饑者ノ食ニ於ケルガ如シ而シテ  
未ダ恩命ヲ蒙ル能ハズ某等ハ既ニ第九第十ノ兩議會ハ  
請願セシ處議院ニ於テハ兩會トモ可決ノ榮ヲ得タリ  
然ルニ政府ハ同廿年十月一日ヲ以テ法律第五十号家禄

賞典祿處分法ヲ發布セラレタリ官吏ノ錯誤ニ因テ不幸  
ヲ得タルモノハ詎法律ニ拠リ聖澤ニ浴スルノ榮ヲ得タリト  
雖氏朝旨ヲ奉體シ不幸ヲ蒙リタル某等ハ未ダ聖恩ニ  
浴スル能ハズ不幸實ニ極ルト謂フ可シ嗚呼某等ガ今日  
窮途ニ落魄セシ其狀ヲ觀事實ヲ鑒ミ玉ハ、焉ソ之ヲ  
傍觀座視セララル、モノナラシヤ必スヤ哀情ヲ憐察セラレ公  
明ノ明鑑ヲ垂レタマイ一視同仁至公至平ノ御評議ヲ以テ  
彼ノ金祿拜受者ト同ジク年數ヲ均一シ其不足額ヲ追  
給セラレ聖澤ニ浴セシメラル、ハ信シテ疑ハザル所ナリ故ニ某等  
腹心ヲ披陳シ敢テ哀訴懇願セシ所以ナリ冀クハ不幸  
ナル某等、哀情ヲ憐ミ願意ヲ採納シ特別ノ御詮議  
ヲ以テ御處置アラシクテ伏シテ奉懇願候

恐惶頓首敬白

明治卅一年九月十三日

島根縣出雲國八束郡津田邨大字西津田三扒壹番屋敷

旧松江藩士族鉄三相続人無職

津川房之丞

明治元年五月生

左縣全國松江市西津田三高拾四番屋敷同居

旧松江藩士族健市相続人無職

高井日不

明治十二年五月生

右後見人

左縣全國松江市西津田三百四扒四番屋敷士族

泉鉄之助

嘉永四年四月生

島根縣出雲國松江市雜賀七百五十九番屋敷  
旧松江藩士族無職

黒田幾太郎

天保八年四月生

全縣全國全市松江分千百貳十九番屋敷  
旧松江藩士族無職

落合柳兵衛

天保五年正月生

全縣全國全市松江分千百拾八番屋敷  
旧松江藩士族無職

野津正澄

嘉永三年三月生

全縣全國全市松江分千貳百四番屋敷  
旧松江藩士族房市相繼人無職

木村美朝

明治十四年四月生

右後見人

全縣全國全市松江分千百貳十九番屋敷士族

落合柳兵衛

天保十五年正月生

大正十一年四月生



内閣總理大臣伯爵大隈重信殿

公卿大臣公卿大臣公卿大臣

公卿大臣公卿大臣公卿大臣

公卿大臣公卿大臣公卿大臣

内閣府蔵書印

7